

4. 国 際 関 係 学 部

国際学科

1. 国際学科の教育方針

国際学科では、世界の人々の生活に寄り添った広く柔軟な「国際学」を、学生と教員が共に学ぶことを通じて、「行動できる、心豊かな人間」を育成していくため、以下の通り「知る・話す・体験する」の3つを柱としてカリキュラムを構成しています。

【知る：knowledge】

幅広い学問領域を有機的に関連づけることで複眼的な思考を養い、世界のさまざまな地域と日本を比較、それぞれの特徴を深く理解していきます。

1年次の「導入科目」で国際関係についての基礎知識を着実に固めた後、「地域研究科目」で世界各地域の特色、「国際政治経済科目」で政治、経済、法律など制度やシステムとしての国際関係、「多文化共生科目」で自然環境、思想、宗教などを含めた広い意味での社会と文化、「世界と日本研究科目」で世界のなかの日本、日本と世界との相互関係を学んでいきます。

【話す：communication】

さまざまな言語を学び、話し、使うことで文化の多様性を理解し、自らの思いを他者に伝えるコミュニケーション能力を身につけていきます。

英語と中国語については、学科基礎科目の「国際英語科目」、「中国語科目」を1年次から開講しています。

2年次からは「地域言語科目」として、ドイツ語、フランス語、スペイン語、韓国語を開講し、全学共通教育科目の「外国語教育科目」と合わせ、在学中に2言語以上を学ぶことができます。

また、国際的なビジネスシーンで通用する実践的な語学力を身につけるために、TOEICや中国語検定のレベルアップを旨として「アドバンスト英語科目」、「アドバンスト中国語科目」を学科専門科目に配置しています。

【体験する：experience】

多様な考え方や文化を持つ人々と積極的に交流し、社会や海外などの様々な場所で学んだ専門知識や言語を活用することで、大学での学修を体験の伴ったものに深化させていきます。

「国際創造プロジェクト・演習科目」の中に必修の5科目を配置し、学びのスキルを養うと共に、プレゼンテーションやディスカッションを通じて、意見や思考の多様性を確認します。

さらに「ハイブリッド・プロジェクトA・B・C・D」は、学期ごとに示された複数のテーマの中から関心のあるテーマを1つあるいは複数選択し、数名の教員から指導を受けながら、受講生によるグループワークを行っていく体験型の科目です。

また「実践科目」に「海外留学」、「フィールドワーク」、「インターンシップ」を配置することで、今後の学修とキャリア形成に役立つ有意義な体験の蓄積を推奨しています。

【卒業研究】

4年次同年の必修科目として開講される「卒業研究」では、上記の学びや体験すべてを活用して、大学生活の集大成である卒業論文等の執筆・制作に取り組んでいきます。

2. 自由科目について

卒業に必要な単位数のうち16単位は区分によらず自由に取得できる。これにより取得したものを自由科目という。以下に自由科目となる科目の区分および注意事項を示す。

- (1) 全学共通教育科目のうち取得を義務づけられた単位数を超えて履修する科目。
- (2) 所属する学科の学部教育科目のうち、取得を義務づけられた単位数を超えて履修する科目。
- (3) 他学部・他学科で開設されている学部教育科目（学部共通科目を含む）。ただし、この中には設備と受講者数の関係等から、受講できない科目がある。また卒業研究は自由科目として履修することはできない。
- (4) 所属学科の学部教育科目と同一名称の他学部・他学科科目および各学科ごとに定められた類似科目は履修できない。

3. 履修単位の上限について

各学期毎に履修できる単位数の上限を下記のとおり定める。

学 期	1	2	3	4	5	6	7	8	計
履修単位上限	20	24	24	24	24	24	20	20	180

- 注) 1. 定められた単位数を超えて履修することはできない。
 2. 2つの学期にわたる科目の単位は2分の1として計算する。

4. 学修進行の制限（学修進行の制限に関する規程（363頁）を参照すること。）

第2条 2期（1年次）終了時において、20単位以上を取得しない者は、3期（2年次）以降の授業科目を履修することはできない。

第4条 6期（3年次）終了時において、次の各号に定める単位（科目）を取得しない者は、卒業研究に着手することが認められず、7・8期（4年次）の授業科目を履修することはできない。

- (1) 卒業に必要な単位数のうち100単位

5. 卒業の要件

全学共通教育科目	初年次教育科目		必修科目1単位	18単位以上	124単位以上
	キャリア教育科目				
	スキル教育科目		6単位以上		
	外国語教育科目		[英語以外の外国語*2単位, 日本語スキル2単位, 情報スキル2単位を含む]		
	教養課題教育科目	人文リテラシー	10単位以上		
		社会リテラシー			
		科学技術リテラシー			
	特別課題教育科目				
健康とスポーツ		必修科目を含めて1単位以上			
スポーツ活動					
学部教育科目	学科基礎科目	導入科目	8単位以上	90単位以上	
		地域研究科目	6単位以上		
		国際英語科目	6単位以上		
		中国語科目			
		地域言語科目			
	学科専門科目	アドバンスト英語科目			
		アドバンスト中国語科目			
		国際政治経済科目	24単位以上		
		多文化共生科目			
		世界と日本研究科目			
	学科応用科目	実践科目			
		国際創造プロジェクト・演習科目	必修科目を含めて5単位以上		
	卒業研究		4単位(必修)		

卒業要件の総単位数124単位以上の中には、自由科目を16単位まで含むことができる。

*「英語以外の外国語」該当科目は以下のとおり。

ドイツ語入門Ⅰ, ドイツ語入門Ⅱ, フランス語入門Ⅰ, フランス語入門Ⅱ, 中国語入門Ⅰ, 中国語入門Ⅱ, スペイン語入門Ⅰ, スペイン語入門Ⅱ, ポルトガル語入門Ⅰ, ポルトガル語入門Ⅱ, 韓国語入門Ⅰ, 韓国語入門Ⅱ

6. 各種資格取得について

(1) 国際学科を卒業することによって、取得可能な資格

資格の名称	取得の要件
高等学校教諭一種免許状「公民」	所定科目修得 134ページ～参照
高等学校教諭一種免許状「地理歴史」	
学芸員	所定科目修得 370ページ～参照
司書	所定科目修得 373ページ～参照

(2) その他、受講できる講座

日本語教員養成講座

現在、日本語教員には、法にもとづく免許制度はないが、本講座修了者には、卒業時に「日本語教員養成講座修了証書」を交付する。詳細は、374ページ～参照。

国際関係学部国際学科教育課程

全学共通教育科目

(単位数に○印のある科目は必修科目)

区分	授業科目	単位数	毎週授業時間数								備考		
			I		II		III		IV				
			1	2	3	4	5	6	7	8			
初年次教育科目	スタートアップセミナー	①	2										
キャリア教育科目	自己開拓 社会人基礎知識	1 2		2									
スキル教育科目	英語スキル I	1	2										
	英語スキル II	1		2									
	英語スキル III	1			2								
	英語スキル IV	1				2							
	日本語スキル A	2	2	(2)									※注1 夏季集中
	日本語スキル B	2			2								
	情報スキル入門	2	2										
	情報スキル活用	2		2									
外国語教育科目	留学英語 A (TOEFL)	1			2								
	留学英語 B (TOEFL)	1				2							
	資格英語 A (英検)	1				2							
	資格英語 B (TOEIC)	1					2						
	パセオアカデミック L&S A	2	4										
	パセオアカデミック L&S B	2		4									
	パセオアカデミック R&W A	2	4										
	パセオアカデミック R&W B	2		4									
	パセオコンテンツ A	1	2	(2)									
	パセオコンテンツ B	1	2	(2)									
	ドイツ語入門 I	1	2										
	ドイツ語入門 II	1		2									
	フランス語入門 I	1	2										
	フランス語入門 II	1		2									
	中国語入門 I	1	2										
	中国語入門 II	1		2									
	スペイン語入門 I	1	2										
	スペイン語入門 II	1		2									
	ポルトガル語入門 I	1	2										
	ポルトガル語入門 II	1		2									
韓国語入門 I	1	2											
韓国語入門 II	1		2										
実践外国語 A	1			2								※注2, 注3	
実践外国語 B	1				2							※注2, 注3	
語学研修 A	1	2	(2)									※注1, 注3	
語学研修 B	1		2	(2)								※注1, 注3	

区分	授業科目	単位数	毎週授業時間数								備考		
			I		II		III		IV				
			1	2	3	4	5	6	7	8			
教養課題教育科目	人文リテラシー	世界の歴史と日本	2		2	(2)							
		日本の歴史と文化	2		2	(2)							
		世界の歴史と文化	2		2	(2)							
		芸術の表象	1		2	(2)							
		映像をみつめて	2		2	(2)							
		教育をみつめて	2		2	(2)							
	社会リテラシー	現代社会と法	2		2	(2)							
		日本の憲法	2		2	(2)							
		政治と社会	2		2	(2)							
		現代経済とビジネス	2		2	(2)							
		生活環境と人間	2		2	(2)							
		心と身	2		2	(2)							
	科学技術リテラシー	数学の思考法	2		2	(2)							
		物理と自然	2		2	(2)							
		化学と物質	2		2	(2)							
生物と環境		2		2	(2)								
生命科学		2		2	(2)								
科学技術と社会		2		2	(2)								
特別課題教育科目	人類と資源	2			2	(2)							
	持続学のすすめ	2			2	(2)							
	地域の防災と安全	2			2	(2)							
	地球を観る	2			2	(2)							
	グローバル環境論	2			2	(2)							
	地域共生実践	2		2	(2)								
健康とスポーツ	健康科学	①	2	(2)									
	スポーツA	1			2								
	スポーツB	1				2							
	スポーツC	1			2	(2)							

区分	授業科目	単位数	毎週授業時間数								備考	
			I		II		III		IV			
			1	2	3	4	5	6	7	8		
スポーツ活動	スポーツ活動A	1	2									※注1 指定された者のみ履修できる
	スポーツ活動B	1		2								
	スポーツ活動C	1	2									
	スポーツ活動D	1		2								
	スポーツ活動E	1	2									
	スポーツ活動F	1		2								
	スポーツ活動G	1	2									
	スポーツ活動H	1		2								

- ・※注1 「スポーツ活動A」「スポーツ活動B」「スポーツ活動C」「スポーツ活動D」「スポーツ活動E」「スポーツ活動F」「スポーツ活動G」「スポーツ活動H」「語学研修A」「語学研修B」「日本語スキルB」は履修単位の上限に含めない。
- ・※注2 「実践外国語A」「実践外国語B」は「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「スペイン語」を扱う。
- ・※注3 「実践外国語A」「実践外国語B」「語学研修A」「語学研修B」は英語または英語以外の外国語に関する卒業要件単位に含めない。
- ・新入生の1期については、所属の学部、学科が指定した全学共通教育科目のみ受講できる。
- ・開講期については、()で記された期に開講することもある。

学部教育科目

(単位数に○印のある科目は必修科目)

区分	授業科目	単位数	毎週授業時間数								他学部 他学科 受講不可	備考	
			I		II		III		IV				
			1	2	3	4	5	6	7	8			
学 科 基 礎	導 入 科 目	国際関係入門	2	2									8単位以上取得すること
		地域研究入門	2	2									
		法学概論	2		2								
		経済学概論	2	2									
		政治学概論	2	2									
		世界史概論	2		2								
		文化人類学入門	2	2									
		社会学入門	2	2									
		世界の言語	2		2								
		アジア研究入門	2	2									
学 科 基 礎	地 域 研 究 科 目	南北地域論	2		2								6単位以上取得すること
		東アジアから学ぶA	2			2							
		東アジアから学ぶB	2				2						
		東南アジアから学ぶ	2			2							
		アフリカから学ぶ	2				2						
		アジアから学ぶ	2				2						
		ヨーロッパから学ぶ	2			2							
		ラテンアメリカから学ぶ	2				2						
		北米から学ぶ	2			2							
		環太平洋から学ぶ	2					2					
地域研究特殊講義	2					2							
比較地域研究論	2						2						
学 科 基 礎	国 際 英 語 科 目	国際英語 I A	1	2								6単位以上取得すること	
		国際英語 I B	1	2									
		国際英語 I C	1	2									
		国際英語 II A	1		2								
		国際英語 II B	1		2								
		国際英語 II C	1		2								
		国際英語 III	2			4							
		国際英語 IV	2				4						
		中国語科目	中国語 A	2	4								
		中国語 B	2		4								
中国語 C	1			2									
中国語 D	1				2								
学 科 基 礎	地 域 言 語 科 目	ドイツ語 I	2			4							
		ドイツ語 II	2				4						
		フランス語 I	2				4						
		フランス語 II	2					4					
		スペイン語 I	2					4					
		スペイン語 II	2						4				
		韓国語 I	2						4				
		韓国語 II	2							4			

区分	授業科目	単位数	毎週授業時間数								他学部 他学科 受講不可	備考		
			I		II		III		IV					
			1	2	3	4	5	6	7	8				
学 科 専 門 科 目	アドバンスト英語科目 国際ビジネス英語A 国際ビジネス英語B 国際時事英語 国際観光・ホテル英語	1					2					◇	国際政治経済科目・ 多文化共生科目・ 世界と日本研究科目の中から、合計 で24単位以上取得 すること	
		1						2				◇		
		1					2							◇
		1							2					◇
	アドバンスト中国語科目 ビジネス中国語A ビジネス中国語B 資格中国語A 資格中国語B	2			4									◇
		2				4								◇
		2					4							◇
		2						4						◇
	国際政治経済科目	国際関係論	2				2							
		国際政治学	2			2								
		国際政治史	2				2							
		国際機構	2					2						
		国際経済学	2				2							
		国際貿易論	2					2						
		国際金融論	2						2					
		国際経済史	2							2				
		国際関係のデータ分析	2								2			
		国際協力論	2				2							
	国際公共政策	2								2				
	多文化共生科目	文化人類学	2			2								
		社会人類学	2			2								
		宗教人類学	2					2						
		比較宗教学	2						2					
		西洋思想史	2							2				
		フイールドワーク論	2				2							
		社会調査	2								2			
		考古学	2				2							
観光文化論		2								2				
地域文化誌		2				2								
地域文化誌		2					2							
人間地理学		2								2				
人間環境学		2									2			
人文社会学		2									2			
西洋文化史		2									2			
世界遺産を学ぶ		2									2			
博物館と文化		2										2		

区分	授業科目	単位数	毎週授業時間数								他学部 他学科 受講不可	備考		
			I		II		III		IV					
			1	2	3	4	5	6	7	8				
学 科 専 門 科 目	世界と日本研究科目	国際ジェンダー論	2						2					国際政治経済科目・ 多文化共生科目・ 世界と日本研究科目の中から、合計 で24単位以上取得 すること
		比較社会論	2					2						
		グローバルビジネス論	2					2						
		民俗学	2						2					
		世界の日本の	2			2								
		世界の民族音楽	2			2								
		日本の歴史A	2			2								
		日本の歴史B	2			2								
		音声学	2			2								
		音韻論	2			2								
		日本語教授法A	2			2								
		日本語教授法B	2			2								
日本語教授法C	2					2								
日本語教授法D	2						2							
日本語教育実習	1								2			※注3		
学 科 応 用 科 目	実践科目	海外留学A	2			2						◇	※注1	
		海外留学B	2			2						◇	※注1	
		海外留学C	2			2						◇	※注1	
		海外留学D	2			2						◇	※注1	
		海外留学E	2			2						◇	※注1	
		海外留学F	2			2						◇	※注1	
		海外留学G	2			2						◇	※注1	
		フィールドワークA	1									◇	※注2	
		フィールドワークB	1									◇	※注2	
		フィールドワークC	1									◇	※注2	
		インターンシップA	1					1				◇	※注3 集中	
		インターンシップB	2					6				◇	※注3 夏季集中	
学 科 目	国際創造プロジェクト・演習科目	ハイブリッド・プロジェクトA	1	2									必修科目を含め5 単位以上取得する こと	
		ハイブリッド・プロジェクトB	1		2									
		ハイブリッド・プロジェクトC	1			2								
		ハイブリッド・プロジェクトD	1				2							
		国際基礎演習①	①	2								◇		
		国際応用演習A	①		2							◇		
		国際応用演習B	①			2						◇		
国際専門演習A	①				2					◇				
国際専門演習B	①					2				◇				
卒業研究	④							4	4	◇	※注4			

※注1 海外への派遣留学および認定留学専用の読替科目。

※注2 学生が休業期間を利用して行う、社会、文化、歴史、地理、政治、経済、開発などに関する海外における自主調査について成績評価を行う。ただし、往復の移動等を除く現地での活動時間が45時間以上であり、事前の「実施計画書」ならびに実施後の「成果報告書」を所定の期限までに提出し、計画の安全性・妥当性および報告書の内容について国際関係学部の承認を受けることを必須の要件とする。また、一度の海外調査に対して成績評価の対象となる科目・単位は「1科目・1単位」に限る。なお、この科目は履修単位の上限に含めない。

※注3 「インターンシップA」, 「インターンシップB」, 「日本語教育実習」は, 履修単位の上限に含めない。

※注4 卒業研究は通年科目であり, 同一年度内の春学期(7期)・秋学期(8期)を通した履修が必要となる。

- 卒業研究の開講時間については, 指導教授の指示によること。
- 新入生の1期については, 別に定める科目についてのみ履修することができる。ただし, 集中講義, および外国人留学生対象の『日本語』はこれに含まない。
- 他学部・他学科受講不可の欄に◇印がある科目は, 他学部・他学科の学生は履修することはできない。

国際関係学部 教職課程（教育職員免許状の取得）

1. 教職課程について

卒業後、教育職員を志望するものは、教育職員免許法に定める教育職員免許状を取得する必要がある。そのためには、卒業に必要な所定の単位を取得するとともに、次に定める教職課程において必要な科目を履修しなければならない。

教育職員免許状を取得することは、教職に就くための必要な条件であって、それを持つ者がそのまま教員に採用されるための十分な条件ではない。教育職員として就職するためには教育職員免許状を取得し、教員採用試験に合格しなければならない。（合格イコール採用ではなく、「採用候補者名簿」へ登録されるだけで、合格年度に不採用であれば翌年に再受験しなければならない。）公立高校については、都道府県や市の教育委員会による採用試験が行われ、私立高校については、私学協会が行う私学適正検査や該当高校での採用試験が行われる。従って教育職員を志す者は広く教養科目を履修するとともに、教科及び教職に関する専門科目においても優秀な成績をあげるよう努力しなければならない。

2. 国際関係学部で取得できる免許状

教職課程を履修した場合、卒業と同時に申請し取得できる免許状は次のとおりである。

教育職員免許状の種類および教科	
高等学校教諭一種免許状	公 民 地 理 歴 史

3. 免許状が取得できる教科

学 科	教 科（高校）
国 際 学 科	公 民 ・ 地 理 歴 史

4. 免許状取得のための基礎資格と単位取得

免許状を取得するためには、大学を卒業することによって得られる「基礎資格」のうえに、「教科に関する科目」・「教職に関する科目」・「教科および教職に関する科目」、さらに「専門科目以外の指定科目」を修得する必要がある。

	基礎資格	教科に関する科目	教職に関する科目	教科・教職に関する科目	専門科目以外の指定科目
高校	学士の学位を有すること	20単位以上	27単位以上	教科および教職に関する科目より12単位以上	8単位以上

- (1) 「専門科目以外の指定科目」については、「日本国憲法」2単位、「体育」2単位以上、「外国語コミュニケーション」2単位以上、「情報機器の操作」2単位以上、計8単位以上を取得しなければならない。

取得条件 対象学科	基礎資格	必要な科目および単位数		
		専 門 科 目		専門科目以外の指定科目
一 種 高 等 学 校 教 諭 (公 民)	国 際 学 科 学 士	教科に関する科目 20単位以上	59単位以上	日本国憲法 2単位以上
		教職に関する科目 27単位以上		体育 2単位以上 外国語コミュニケーション 2単位以上 情報機器の操作 2単位以上
一 種 高 等 学 校 教 諭 (地 理 歴 史)	国 際 学 科 学 士	教科に関する科目 20単位以上	59単位以上	日本国憲法 2単位以上
		教職に関する科目 27単位以上		体育 2単位以上 外国語コミュニケーション 2単位以上 情報機器の操作 2単位以上

5. 教職課程の履修について

- (1) 教職課程の履修を希望するものは、履修登録費が必要となる。また、教育実習協力費が必要となる場合がある。
- (2) 教職課程の登録については、1年次の秋学期に説明会を行う。説明会については、公示するので注意されたい。
- (3) 「教職に関する科目」は、「卒業に必要な単位数」および「履修単位数の上限」に算入されない。
- (4) 「教科に関する科目」および「専門科目以外の指定科目」は、「卒業に必要な単位数」および「履修単位数の上限」に算入される。

●教職課程の履修について

現代教育学部の教職課程で開設されている科目は、幼稚園教諭・小学校教諭・特別支援学校教諭・中学校教諭（理科・国語・数学）のために開設されている科目です。高等学校教諭・中学校教諭（国語・英語・社会）・養護教諭・栄養教諭の教育職員免許状取得のための科目ではありませんので、同一名称の科目であっても「教職に関する科目」の単位としては認められません。現代教育学部で開講されている同一名称の科目を履修し、単位を修得した場合、教員免許状の取得が不可能になりますので、必ず本学部で開講されている科目を履修してください。

教職課程の履修について

教職に関する科目（高校の免許）

表中の○印は必修科目，－印は受講できない科目

授 業 科 目	単 位 数	免許の種類		毎 週 授 業 時 間 数								備 考			
		公 民	地 理 歴 史	I		II		III		IV					
				1	2	3	4	5	6	7	8				
教 職 概 論	2	○	○			2									
教 育 原 論	2	○	○				2								
教 育 史	2					2									
教 育 心 理	2	○	○				2								
教 育 行 政 学	2	○	○							2					
学 校 経 営 論	2											2			
教 育 課 程 総 論	2	○	○							2					
社会科・公民科教育法Ⅰ	2	○	－							2					
社会科・公民科教育法Ⅱ	2	○	－								2				
社会科・地理歴史科教育法Ⅰ	2	－	○							2					
社会科・地理歴史科教育法Ⅱ	2	－	○								2				
特 別 活 動	2	○	○							2					
教 育 方 法 論	2	○	○				2								
生 徒 指 導 ・ 進 路 指 導	2	○	○							2					
学 校 教 育 相 談	2	○	○								2				
教 育 実 習 A	3	○	○												(4年次)
教 職 実 践 演 習 (中・高)	2	○	○										2		

国際学科「公民」

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目				
免許法施行規則に定める科目及び単位数		本学における開講科目及び単位数		教職課程必修科目
科目	単位数	授業科目	単位数	
日本国憲法	2	日本の憲法	2	○
体育	2	健康科学	1	○
		スポーツ A	1	
		スポーツ B	1	
		スポーツ C	1	
外国語コミュニケーション	2※	英語スキル I	1	
		英語スキル II	1	
		英語スキル III	1	
		英語スキル IV	1	
		ドイツ語入門 I	1	
		ドイツ語入門 II	1	
		フランス語入門 I	1	
		フランス語入門 II	1	
		中国語入門 I	1	
		中国語入門 II	1	
		スペイン語入門 I	1	
		スペイン語入門 II	1	
		ポルトガル語入門 I	1	
		ポルトガル語入門 II	1	
		韓国語入門 I	1	
		韓国語入門 II	1	
情報機器の操作	2	情報スキル入門	2	
		情報スキル活用	2	

教科に関する科目				
免許法施行規則に定める科目区分		本学における開講科目及び単位数		教職課程必修科目
		授業科目	単位数	
「法律学(国際法を含む。)、政治学(国際政治を含む。)」	法学概論	2	○	
	国際法	2	○	
	国際関係入門	2		
	国際関係論	2		
	国際政治学	2	○	
	政治学概論	2	○	
	国際機構	2		
「社会学、経済学(国際経済を含む。)」	経済学概論	2	○	
	国際経済学	2	○	
	国際金融論	2		
	国際経済史	2		
	社会学	2	○	
	文化人類学入門	2		
	文化人類学	2		
	社会学入門	2	○	
	社会調査法	2		
	貿易論	2		
	国際協力論	2		
	国際ジェンダー論	2		
	比較社会論	2		
	民俗学	2		
「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	宗教人類学	2	○	
	比較宗教学	2	○	
	社会思想史	2	○	

※同一言語の科目を2単位修得すること。

国際学科「地理歴史」

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目				
免許法施行規則に定める科目及び単位数		本学における開講科目及び単位数		教職課程必修科目
科目	単位数	授業科目	単位数	
日本国憲法	2	日本の憲法	2	○
体育	2	健康科学	1	○
		スポーツ A	1	
		スポーツ B	1	
		スポーツ C	1	
外国語コミュニケーション	2※	英語スキル I	1	
		英語スキル II	1	
		英語スキル III	1	
		英語スキル IV	1	
		ドイツ語入門 I	1	
		ドイツ語入門 II	1	
		フランス語入門 I	1	
		フランス語入門 II	1	
		中国語入門 I	1	
		中国語入門 II	1	
		スペイン語入門 I	1	
		スペイン語入門 II	1	
		ポルトガル語入門 I	1	
		ポルトガル語入門 II	1	
		韓国語入門 I	1	
		韓国語入門 II	1	
情報機器の操作	2	情報スキル入門	2	
		情報スキル活用	2	

教科に関する科目				
免許法施行規則に定める科目区分		本学における開講科目及び単位数		教職課程必修科目
		授業科目	単位数	
日本史		世界の中の日本	2	
		日本の歴史 A	2	○
		日本の歴史 B	2	○
外国史		世界史概論	2	○
		国際政治史	2	○
		西洋文化史	2	
人文地理学及び自然地理学		人間と環境	2	○
		人文地理学	2	○
		地域研究入門	2	○
		東アジアから学ぶ A	2	
		東アジアから学ぶ B	2	
		アフリカから学ぶ	2	
		西アジアから学ぶ	2	
		ヨーロッパから学ぶ	2	
		ラテンアメリカから学ぶ	2	
		北米から学ぶ	2	
地誌		地誌 A	2	○
		地誌 B	2	○

※同一言語の科目を2単位修得すること。